



# 議会だより

真新しい校舎でドキドキわくわくの学校生活が始まります～鉾田南小入学式～



令和元年第1回定例会の予定……**生中継**

## 議会映像配信の お知らせ



生中継・録画中継で  
本会議を傍聴出来ます。

平成最後の定例会。  
新しい年度の予算が  
可決されたよ。



鉾田市マスコットキャラクター ほこまる

平成 31 年度予算可決！注目の事業は？… P2～5

平成 31 年第1回定例会  
新年度予算を集中審議 …………… P6～8

ここが聞きたい！一般質問  
“16人が質問しました” …………… P9～17

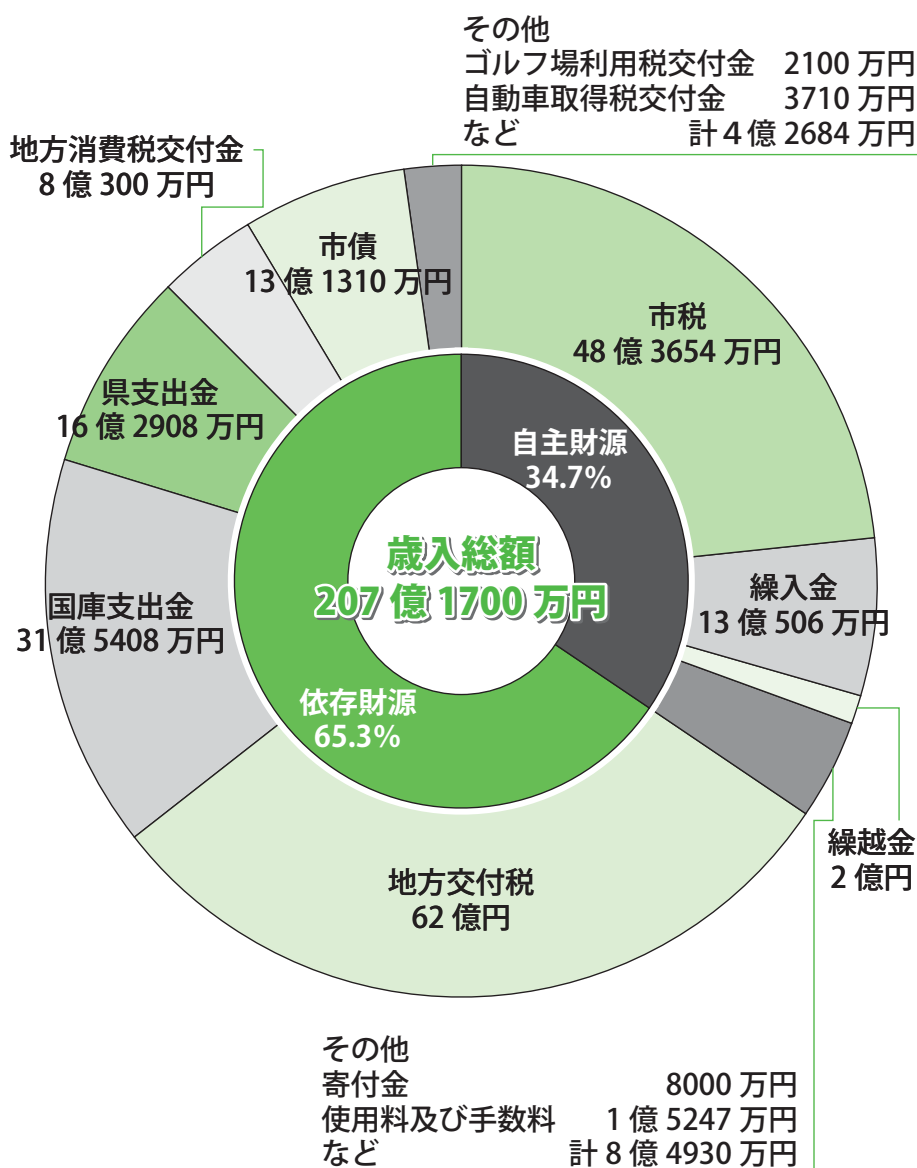
県知事に要望書を提出 …………… P19

# の税金

チェックして  
みましょう!!



## 一般会計 歳入



平成31年度一般会計予算は

前年度比5・3%減の207億1700万円

一方、特別会計予算では、公共下水道事業特別会計で管渠工事の減などに伴い前年に比べ大きく減少するものの、後期高齢者医療特別会計や介護保険特別会計では増となっています。

また、水道事業会計では西台系浄水場電気計装設備更新工事の増などにより、対前年度比6・7%の増となりました。

※管渠かんきょ 路面に埋設する排水管

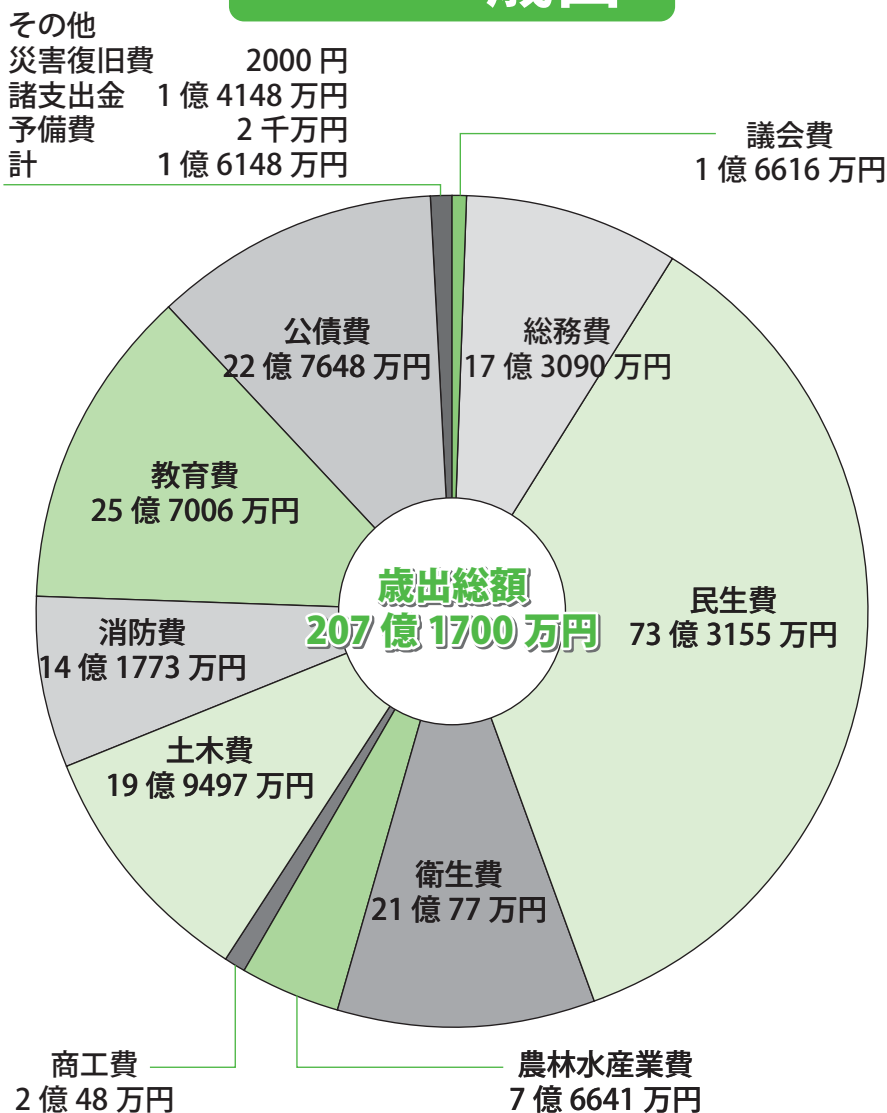
議会だよりNo. 53で  
用語の解説をしているよ！  
いっしょに見てみてね！



# 平成31年度予算案を集中審議

## どう使われるの？ 私たち

### 一般会計 歳出



### 一般会計予算

207億1700万円

対前年度比 5.3%の減

会計名	今年度予算額	前年度予算額	増減額	増減率	
一般会計	207億1700万円	218億7000万円	△11億5300万円	△5.3%	
特別会計	国民健康保険	72億4433万円	74億3630万円	△1億9197万円	△2.6%
	後期高齢者医療	5億4273万円	5億317万円	3956万円	7.9%
	介護保険	47億3926万円	46億3969万円	9957万円	2.1%
	農業集落排水事業	2億2095万円	2億606万円	1489万円	7.2%
	公共下水道事業	5億2481万円	6億3782万円	△1億1301万円	△17.7%
水道事業会計	21億1207万円	19億7989万円	1億3218万円	6.7%	
合計	361億114万円	372億7293万円	△11億7179万円	△3.1%	

※予算額は四捨五入により記載しているため、合計等が一致していない場合があります。



# 注目の事業ピックアップ

令和元年 10月 茨城国体開催!!

令和元年6月8日から9日にリハーサル大会、10月4日から6日には本大会を開催。  
 銚田市はスポーツライミング競技会場となり、多くの選手や関係者が来場されます。

【予算額 2億6949万円】



## 主な事業

### ・高齢者タクシー利用助成事業

銚田市に住民登録している75歳以上の方に、迎車分を含む初乗り料金を助成するタクシー券を月4枚支給します。

### ・チャレンジショップ

中心市街地の空き店舗を利用してチャレンジショップを立ち上げ、銚田市で創業を目指す方の支援と、中心市街地の集客力強化を図ります。

### ・人口減少対策事業

これまでの、市外からの転入者向け住宅取得支援に加えて、定住を促進するための支援が拡大され、市内在住で夫婦共に40歳未満の住宅取得者に対し10万円が補助されます。

### ・放課後児童健全育成事業

公立の放課後児童クラブとして、旧銚田小学校を活用した銚田南児童クラブが新たに設置され、名称が変更となった大洋西児童クラブ、大洋東児童クラブと合わせて3か所で実施されます。

### ・大洋公民館大規模改修工事

市民が安全安心に利用できる環境とするため、トイレの洋式化や空調改修、玄関のバリアフリー化、照明のLED化などの工事が行われます。

### 📄 check

市のホームページで、「平成31年度予算に関する説明書」が公開されています。

主な事業や予算を確認することができます。



※各事業には要件や期限などがありますので、詳細は市ホームページや担当課にお問い合わせください。



# 予算特別委員会

## 委員構成

委員長 入江 晃  
副委員長 亀山 彰  
委員 議長を除く議員

## 主な質疑

### 中学生海外派遣事業拡大

**委員** 中学生海外派遣事業の予算が増額となった理由は。

**課長** 平成31年度は派遣人数を16名程度に増員し、さらに教職員1名が随行する予算を増額したため。

### 4m未満の生活道路整備実施

**委員** 平成31年度より本格的に開始される、4m未満の生活道路整備の詳細と、整備地区は。

**課長** 1地区あたり概ね200m前後を整備することとしており、平成31年度は4千万円を予算計上し、できるだけ多くの地区を整備したい。

### 子育て応援給付金の支給が変わります

**委員** HUGくむ子育て応援事業における経済的支援の詳細は。

**課長** これまでは、1歳6か月の健診時に2万円を支給していたが、平成31年度からは、4か月と1歳6か月の健診時に申請していただき、それぞれ1万円ずつ交付する。

### うまかつペフェスタを見直し

**委員** 平成30年度に公表された市民満足度調査で、銚田市が市外に発信できる「強み」として上位にランクしている「うまかつペフェスタ」を、平成31年度に実施しないと決めた経緯は。

**部長** うまかつペフェスタは、これまで10回開催し、市民にも浸透してきたが、産業祭は近隣自治体でも多く実施されており、より市外からの集客を図るための付加価値が必要と考え、イルミネーションを軸に据えたイベントを実施することとした。

## 議案第1号

平成31年度銚田市一般会計予算

## 討論

### 反対

銚田市を代表するイベントとなっている銚田うまかつペフェスタが予算化されていないこと。

小学校統合に伴い交付税が大幅減となっていくなかで何ら財源対策が示されず、旭地区や大洋地区の遠距離児童の通学の困難さを放置したままにスクールバス無料運行が実施されること。

多くの事業で内容が精査されておらず、制度設計も未整備のままに予算化されていること。

高齢者タクシー利用助成事業は協議が未調整で運用実施は看過することができないこと。以上のような理由により反対。

### 賛成

高齢者タクシー利用助成事業の開始や教育ローン利子補給事業の改善、スクールバス利用料無料化の実施、メロン用パイプハウス更新費用補助金の開始、道路整備予算の増額など新規事業も積極的に導入されている。

積み増しが指摘されてきた基金も取り崩し活用されるなど、市民の要望に応えた予算となっているため賛成。





## 概 要

平成31年第1回定例会は3月1日から3月27日までの27日間の会期で開かれました。

議案は、市長から平成31年度各会計予算など計49件が提出されました。また、議員から3議案が提出されました。

一般質問は、16人の議員から通告があり、質問が行われました。(9ページ～17ページ)  
 請願は、後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願が提出されました。

陳情は、なめがた地域医療センターの縮小に関する陳情及び銚田中央公民館に関する陳情書が委員会に付託されました。

常任委員会は、総務企画常任委員会で請願審査及び所管事務調査が、経済建設常任委員会で所管事務調査が、厚生文教常任委員会では陳情審査が行われました。

平成31年度当初予算は、予算特別委員会において集中審議が行われました。

今定例会では、51議案が可決され、議員提出議案1議案が否決、請願は継続審査となりました。陳情は、なめがた地域医療センターに関する陳情は採択され、銚田中央公民館に関する陳情書は継続審査となりました。

**選挙**  
(当選人)

茨城県後期高齢者医療  
広域連合議会議員選挙

**郡司 功**

### 提出された議案等と審議結果

## 全会一致で可決された議案等

会議名	議 案 等	
<b>第1回定例会</b>	第4号	平成31年度銚田市介護保険特別会計予算
	第5号	平成31年度銚田市農業集落排水事業特別会計予算
	第6号	平成31年度銚田市公共下水道事業特別会計予算
	第7号	平成31年度銚田市水道事業会計予算
	第8号	学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
	第9号	銚田市議会議員及び銚田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例の制定について
	第10号	銚田市個人情報の保護に関する条例の一部改正について
	第11号	銚田市税条例の一部改正について
	第13号	銚田市国民健康保険条例の一部改正について
	第14号	銚田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
	第15号	銚田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について
	第16号	銚田市立学校設置条例の一部改正について
	第17号	平成30年度銚田市一般会計補正予算(第6号)
	第18号	平成30年度銚田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
	第19号	平成30年度銚田市介護保険特別会計補正予算(第4号)
	第20号	平成30年度銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)
	第21号	平成30年度銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
	第22号	平成30年度銚田市水道事業会計補正予算(第3号)
	第23号	市道路線の廃止について
	第24号	市道路線の変更について
	第25号	市道路線の認定について
	第26号～ 第49号	銚田市農業委員会委員の任命について
	陳情第 31-2号	「鹿行地域の医療体制維持のため、なめがた地域医療センターの入院・夜間救急受け入れの停止の方針が見直されるよう、茨城県厚生連および茨城県へ要請すること」を求める陳情書
	議案第 3号	土浦協同病院なめがた地域医療センター現体制の堅持及び、鹿行地域医療体制の整備に関する要望書の提出について



可決

議案第2号

銚田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

## 議員定数2名削減 18名に

提案理由

市議会議員改選のあった4年前から人口が約2千人減少しており、今後も同じようなスピードで人口減少が進むことが予想され、人口割で考えても議員定数が多いのではないかと考える。また、市民からも議員定数20名は多いのではとの声があがっている。常任委員会3委員会を各6名で構成することを考慮すると、18名が議会のあり方として理想と考える。

### 討論

反対

- ・定数削減は、行財政改革の視点だけではなく、市の抱える行政課題や多様化する住民の意思の反映を十分考慮する必要がある、現状で2名削減の時期ではないと考える。
- ・議会の重みがますます軽んじられることを危惧する。市政に対するチェック機能や多種多様な世論をくみ上げ実現していくためには20名が必要。この提案は性急で、1年以上をかけて議論すべき。

賛成

- ・少子化や若い世代の市外流出により、人口減少に歯止めがかからない状況で、人口割に対する議員定数に疑問を感じる。議員自身の質を高め、住民の付託に応えることのできる議員が選ばれるべきである。
- ・全国的に議員のなり手不足と言われており、今この時期に処遇の改善等を含め環境を整える必要がある。議員報告会でも市民から議員定数削減と報酬改善について意見があり、削減すべきと考える。

## 市政を問う 会派代表者質問

3月6日

よりよいまちの実現に向けて



公明党  
銚田市議団  
入江 晃 議員

問

よりよいまちの実現に向け、急激な人口減少に歯止めをかけることが一番大事な喫緊の課題であるが、市長の考える人口減少に歯止めをかける一番の施策を伺う。

答

【市長】結婚から妊娠、出産、子育て支援、教育環境の充実、雇用の場の創出、住宅支援、生活環境の整備などの事業を切れ目なくパッケージとして市全体で取り組む。

若い人が安心して結婚し、子どもを産み育て、子どもたちが恵まれた環境で教育を受け、健やかに育ち、銚田で働き、結婚し、子どもを産み育てていくといった好循環社会の礎を築いていきたい。

提言

結婚から子育てまでをしっかりとパッケージで進めれば、人口減少は食い止められるとの思いでこの施策を出しているとは思いますが、さらに深く考えたときに、雇用の創出が重要である。市長は雇用の場の創出を謳っているが、銚田に働く場所がどのくらいあるのか。

銚田市の住環境や教育環境はともない場所だと思っている。ただ、働く場所が少ないので、雇用の創出に早急に取り組むべきである。

その他の質問事項

- ・徹底した行政改革について
- ・安心の子育てについて
- ・頼れる福祉について
- ・便利なインフラについて
- ・主要施策について





## ここが聞きたい!!

## 一般質問

議員名	質問事項
渡辺 拓哉 P10	1. (仮称) 市民交流館について 2. クリーンセンターのゴミについて 3. 銚田市の職員の再就職について 4. 農業振興センターについて 5. 今年のうまっぺフェスタについて
高埜 栄治 P10	1. 本市の農業産出額を支える養豚事業経営の継続性確保のための支援について 2. 本市の観光産業振興等による交流人口ならびに地域づくり担い手となる関係人口の増加策について 3. 特別支援学級で学ぶ児童生徒の教育の充実と関係機関連携による豊かなライフステージづくりについて
井川 倫士 P11	1. 将来的な歳入歳出のバランスと基金残高の見直しについて 2. 銚田南小学校の整備事業に関する市民からの改善要望について 3. 市民の安心を確保するための地域医療の補助体制について 4. 本市の施策立案、並びに事業推進における企画力向上の方法について
石津 武吉 P11	1. 市民アンケート調査について 2. 水鳥・湿地センターの誘致について 3. 児童虐待への対応について 4. 議会報告会への職員の参加要望の件について
高野 衛 P12	1. 東海第二原発の再稼働問題について 2. 銚田南小学校通学児童の安全対策について 3. 障害者福祉の充実について 4. 豚コレラ対策について 5. なめがた地域総合医療センターについて 6. 医療費のお知らせ通知について
堀田 正衛 P12	1. 一般廃棄物広域処理促進協議会と銚田市の今後の対応について 2. 飯名の市有地の活用について 3. スクールバスの無償化に伴う財源について 4. ともえ荘の運営について

議員名	質問事項
岩間 勝栄 P13	1. がん検診の受診率向上のための対策について 2. 子育て中の女性に対しての就労支援について
根岸 眞 P13	1. 「ごみの散乱防止!きれいなまちをつくろうプロジェクト」について 2. 「環境保全活動をみんなで行う環境づくり」について 3. ボランティア清掃について 4. 銚田市都市計画マスタープランについて 5. 道路・交通体系形成の方針について
米川 宗司 P14	1. 文化財保護について 2. 住民健診について 3. 予算について
水上 美智子 P14	1. 市のホームページ活用について 2. 将来を担う子どもたちのより良い教育環境の充実を目指すことについて 3. 高齢者が安心して暮らす環境づくりについて
倉川 陽好 P15	1. 小学校統合に向けた取り組みについて 2. 桜本地区コミュニティ施設の助成について 3. 指定ゴミ袋について 4. 市の行政施設について 5. 企業誘致促進事業について 6. 指定管理者の取り組みについて
友部 政徳 P15	1. 海岸の浸食対策について 2. 県道182号について 3. 新宮土地改良区について 4. 公共下水道処理施設周辺整備について 5. 通学路について
亀山 彰 P16	1. 幼児教育について
小沼 勝 P16	1. 銚田市農産物等PR方法について 2. スクールバスの無償化について 3. 市民を幸福にする住みやすさと定住意向の政策について
入江 晃 P17	1. アンケートについて 2. 市民交流館建設予定地の利活用について 3. 市の公共交通について 4. 保育所の運営状況について 5. 親水公園計画について 6. 濁沼ラムサール条約登録後の対策について 7. 農業振興について
田口 清一 P17	1. 交通弱者のための移動手段の確保について 2. スクールバスの無料化について

### ホームページで 一般質問の会議録が見られます

- ①銚田市のホームページへアクセスする。  
アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>
- ②市ガイド内の「銚田市議会」をクリックする。
- ③会議録をクリックする。



また、各議員のQRコードを読み込むことで、その議員の一般質問の録画を再生できます。

銚田市役所ホームページ

検索

### 一般質問とは?



議員が市政全般の現状や方針などを問うものです。  
ここでは、一般質問を要約して報告します。





高 埜 栄 治

養豚事業経営の  
継続性確保のため  
の支援策は



渡 辺 拓 哉

(仮称)市民交  
流館予定地利活  
用の進捗  
は



**問** 銚田市の平成28年度  
の農業生産額を見ると、  
野菜の58%に続き、  
養豚業が17%で140億1  
千万円の実績を残して  
おり、県内第1位となっ  
ている。養豚業者の多く  
が銘柄豚として有利販  
売に努めるなど本市の  
基幹産業を担っている  
が、養豚経営において  
は、伝染病や健康飼育  
対策、環境対策など多  
くのリスクを背負って  
いる。

**答** 今後、持続性ある産  
業とするためには自助  
努力に加えて行政の関  
わりも重要になってく  
ると思われ、養豚経営  
の課題をどのように認  
識しているか。  
また、養豚組合に対  
する助成しか行ってい  
ない養豚業への支援方  
法の見直しが必要と考  
えるが取り組み姿勢に  
ついて伺う。  
【産業経済部長】養  
豚経営の課題とし

**再質問** 環境対策への負担  
増大、後継者の問題、  
飼料費の高騰、従来以  
上の家畜防疫体制の構  
築などがあげられる。  
養豚業者への市単独  
事業としては、オーエ  
スキー病の予防接種補  
助事業があるが、国・  
県補助の活用も含め  
て養豚事業者への支  
援の拡充に努めてい  
きたい。  
環境対策や飼料費高  
騰など養豚

**答** 【産業経済部長】  
国の補助要件に合致  
する取り組みとなる  
よう養豚業者の協力  
をいたしながら環境  
づくりを行っていき、  
補助事業の活用を図  
っていききたい。

**問** (仮称)市民交流館  
予定地の利活用検  
討委員会の状況は。  
また、市民意識調査  
は平成31年3月に実  
施されるのか伺う。  
**答** 【副市長】飯名  
地区の市有地利活用  
検討委員会については、  
立地の状況や現場を  
確認したうえで、銚  
田市全体の課題や公  
共施設の現状など  
について議論を重ね  
た。その結果、次世  
代につながる活  
用の活用を念頭に、  
①子

育て支援の環境づく  
り、②市内の活性化、  
③銚田市と農業の活  
性化、④市民の多世  
代が活動できる場  
所の充実化の4点の  
方向性が示され、想  
定される機能を複  
合的に取り入れた、  
子どもから高齢者  
まで幅広い世代が  
気軽に集まることが  
できる空間を創出す  
る場として利用す  
ることを提言した。  
市民意識調査につ  
いては、平成31年3  
月までには発送でき  
るよう準備を

進めている。  
**再質問** 議会に  
対しては、アンケート  
内容の報告だけでなく、  
意見も聞いてもら  
いたい。  
また、現時点で  
想定している内容  
を伺う。  
**答** 【副市長】議  
会には、アンケート  
内容を示すこと  
をしたい。  
また、その内容  
については現在検  
討中だが、検  
討委員会で示さ  
れた方向性に対  
する意見も聞  
いていきたい。

**再質問** 市民意識調査  
の結果は実行に移  
されるのか。  
**答** 【副市長】市民  
意識調査の結果を  
ふまえて、最終  
的には市長が  
決断する。  
**要望** 市民の意見  
なので、ぜひ  
実行に移して  
ほしい。  




石津 武吉

### 水鳥・湿地センターの誘致



**問** ラムサール条約締結後、市長は昨年、水鳥・湿地センターの誘致を表明しているが、その後の県当局との交渉状況について伺いたい。また、元県職員であった副市長は、県当局との交渉にどの程度関わっているのか伺いたい。

**答** 【市民部長】平成30年10月に本市・茨城町・大洗町の各首長と茨城県とで環境省に赴き、水鳥・湿地センターの機

能を分割し、大洗町と連携のもと本市と茨城町に施設整備を求める要望書を提出している。平成31年1月には、環境省の平成31年度予算において施設整備に向けた基本構想を策定する予定であると茨城県を通じ説明を受けている。また副市長の関わりについては、茨城県との連絡調整や事業の進め方などについて助言をもらっている。

**再質問** 市長は施政方針で中央省庁に財源確保等に出向くと言っているが、県や県議会議員が抜けている。市長の基本的な考え方を改めて伺いたい。

**答** 【市長】県も含め、必要に応じ、必要な部署等に行つて要請していくつもりである。

**再質問** 本市を含めた茨城町と大洗町の三市町の話し合いにより、茨城町の広浦と本市箕輪

地区に施設整備の計画が決まったと聞いたが、その内容は。

**答** 【市民部長】茨城町と本市の双方に同じような水鳥・湿地センターを作るのではなく、二つの地区にセンターの機能を分けて、環境省が基本構想の策定と整備を行うと、茨城県を通じ説明を受けている。

井川 倫士

### 鉾田南小学校整備に関する市民からの改善要望は



**問** 鉾田南小学校の校舎や周辺環境について、市民からはどのような改善要望があり、県などに対して働きかけを行っているのか。

**答** 【教育部長】これまで通学路の安全対策や敷地内の調整池、駐車場に関する問い合わせがあった。通学路の安全対策として学校付近の交差点への信号機設置の要望があったため、平成30年4月に鉾

田警察署に要望書を提出した。9月に県警察本部交通規制課から、当該交差点は交通量が少ないため信号機の設置は難しいが、代わりに小学校前への信号機設置を検討するとの回答があり、11月に設置が決定した。交差点への信号設置については、平成31年3月に再度要望書を提出しており、引き続き協議を行っていききたい。また、調整池は正門のそ

ばで危険なのでふたをしてほしいとの要望があったが、構造上ふたをすることは困難なため、調整池の上段と中段の2か所に忍び返し付きのフェンスを設置し、防犯カメラも設置して安全対策を講じる。

**再質問** 交差点への信号設置については、保護者や地域住民による署名活動が始まっており、信号機設置の要望を近く出す予定と聞いている。また、開校当初は保護者

の送迎等がかなり多くなると思う。特に雨の日などは正門付近の交通渋滞が容易に想像できる。近隣の交差点等は保護者が交通整理を自主的に行うようだが、正門付近を保護者が行うのは困難であると考えるが対策を伺う。

**答** 【教育部長】職員や教員ではなく、一定期間警備員を配置することを検討する。



高野 衛



なめがた地域医療センターの機能縮小問題



**問** 平成31年4月からなめがた地域医療センターの入院機能縮小と夜間緊急受け入れ中止への報道がされている。なめがた地域医療センターは、高度医療や第二次、第三次救急医療に対応する地域の中核医療機関を担っており、市民に深刻な影響を与えかねない。本市として機能低下を食いとめる方策や要請などを講じる考えはあるか伺う。

**答** 【健康福祉部長】 状況の改善には、医師確保のための補助制度の拡充などといった支援策を研究していくことが必要と考えている。茨城県厚生農業協同組合連合会や茨城県に対する要請活動、銚田地域病院群輪番制の関係医療機関に対する協力依頼、なめがた地域医療センターに対する事業継続の要請などを行ってきたが、広域的な救急医療の整備などに関しては、市単独で解決す

ることが困難な問題のため、今後も県や医師会、近隣市町村と連携を図って対応していきたい。

**再質問** 経営の悪化が背景にあると報道されており、県の財政的な支援が不可欠で、銚田市として支援できることをまとめることも必要だと考える。

本市からも医師確保のための補助金を支出し、地域医療充実のために協力してきた経緯があるが、何ら相談もなく縮小を決

めようとしている。これらについて市長はどう考えているか。

**答** 【市長】 鹿行地域の第三次救急医療がなくなるという看過できない状況で、なぜ早く地元自治体に話をしてもらえなかったのかと、私も同じ気持ち。27万鹿行広域住民の生命を守る医療機関なので、今後は様々な方策をもって、国や県にも要望し、一丸となって状況を打開していきたい。

堀田 正衛



廃棄物広域処理の今後の対応



**問** 潮来市、行方市、銚田市において、広域的なごみ処理場建設について十年前から検討を重ねてきたが、平成30年9月に、潮来市がこの組合から離脱を表明した。さらにその後、行方市も離脱すると表明した。3市で十年間も検討してきた、用地を選定するところまで来たのに、銚田市だけが取り残されてしまった状況であるが、今

後の対応について伺う。

**答** 【市民部長】 3市の枠組みが、事実上、事業休止となり、新たな枠組みを本市では検討しなければならぬ。現在の銚田市4万8千人の人口では、補助金の交付要件である5万人に満たないため、現状では、本市のみでは補助金の交付が受けられないので、連携できる市町村と枠組みを検討していかなければな

らない。

**再質問** 大洗町から話がある。銚田市単独では人口が5万人未満で交付金が出ないが、銚田市と大洗町を合わせれば、5、6万人近くになる。大洗町と協議を進めることはいいことと思うが、今後の方向性について、市長の見解を求める。

**答** 【市長】 行方市の離脱の報道があった

翌日に大洗町長から電話があり、後日、銚田市に來られた。大洗町では、ぜひ銚田市と一緒にやらせてほしいということを通してきていた。しかし、実現性を最優先したいので、現段階では、どこと組んで、どのような方向で進めばいいかということはまだ公表する段階ではないことを理解されたい。



根 崎 眞

### 銚田市都市計画 マスタープラン



岩 間 勝 栄

### 子育て中の女性 に対する就労支 援



**問** 本市では合併による地区の速やかな一体感を基本とし、地域性や独自性を尊重した市民参加のまちづくりを指すとして、平成22年3月に銚田市都市計画マスタープランを策定した。平成31年度は計画の中間年次にあたるため、社会経済情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて改正を行うとあるが、どのような改正になるか伺う。

**答** 【建設部長】銚田市都市計画マスタープランは都市計画の基本的な方針として平成22年に策定し、目標年次を平成42年と定めている。しかしながら、策定の翌年に発生した東日本大震災による影響のほか、小学校の統合、洵沼ラムサール条約の登録、整備中の新市連絡道や昨年供用した東関東自動車道水戸線銚田インターチェンジな

ど、住環境や交通体系が変わり、当初の計画との開きが生じている。マスタープラン計画期間の中間年次を迎えるに当たり、市の最上位計画である第2次銚田市総合計画や県が策定している銚田都市計画区域マスタープランのほか、市が策定している防災や福祉など各分野における事業計画などと整合性を図りながら見直しを進めてい

**再質問** 計画見直しには、市民も含め、時間をかけて、時代の変化に対応できるように仕組みを取り入れなくてはならないと思うが、いかがか。

**答** 【建設部長】各方面の市民の方々の意見を聞く機会を設け、市民の意見を反映していきたい。

**答** 女性が活躍する場をつくることは、女性がその地域に魅力を感じ、住み続けることにつながることから、地域における女性の活躍は重要である。また、地方における安定した雇用を創出することは重要であり、子育てをしながら就労を目指す女性を支援してもらいたい。しかし、子育てをしながら、再就職に踏み切ろうと思っても、

不安があったり、情報が足りないなどの理由で、なかなか思うようにいかないこともあるかと思うがその対策について伺う。

**答** 【産業経済部長】本市では、銚田市地域職業相談室を設け相談にに応じている。また、銚田市子育て世代包括支援センターを健康福祉部が運営し子育て中の女性の就職支援について対応しているが、この2つの機

関がうまく連携していない状況である。施設スペースの問題もあり、ワンストップ窓口は設置してないが、同じ市の部局であるので、連携を密にして、子育てをしながら就職活動に取り組みたいと考えている方の支援について、今後も利便性の向上に努めていきたい。

**再質問** 人口減少問題は、どの市町村でも取り組んでいる課題で



ある。若いお母さん方が安心して暮らせるように、仕事と子育てを両立できるようにような支援体制を充実させることが重要と考えがいかかがか。

**答** 【市長】人口減少対策として、多くの若い人たち、お母さん方が銚田市に住んでみたいと思うような状況をつくれるよう前向きに検討する。



**水上 美智子**

**高齢者が安心して暮らせる環境づくり**

**米川 宗司**

**厳島神社の観光資源としての活用を**




**問** 以前の一般質問で、タクシー利用券の補助に取り組んでいる自治体を調査するよう提言しましたが、高齢者の運転免許証の自主返納に対する支援事業について、具体的な取り組みを伺いたい。

**答** 【健康福祉部長】平成31年度事業として、高齢者タクシー利用助成事業を予算計上している。75歳以上の高齢者

**問** 子生地区にある厳島神社は県及び市の文化財に指定されていない。近隣市町にはない、歴史ある建物でもあり、以前は遠方より崇拝者が往来し、にぎわいがあったと聞いている。市内外から人々を呼び込む資源と考えるが、その活用方法を伺う。

**答** 【産業経済部長】厳島神社は、子生の弁天様として親しまれ、

を対象に、運転免許証の自主返納を促すことを含めた取り組みとして、タクシー初乗り運賃相当額を助成することで高齢者の外出を支援する。月4枚、年間最大48枚の助成券の交付を行う。この事業は、平成30年度策定した銚田市公共交通将来ビジョンの将来的な推進プログラムや各種調査を踏まえ実施するものである。

安芸の厳島神社より分霊を迎えたと伝えられている。荘厳なたたずまいと立派な竜の彫刻など、文化財としてだけでなく観光としても利用できる。また子生の地名にもあるとおり、安産祈願のお社としても有名であり、塔ヶ崎の観音様とともに、妊娠中の女性へアプローチした観光事業などにも活用できる可能性があると考ええる。


**再質問** 大洋地区と白塚区を対象に乗合自動車が行われているが、この地区の高齢者もタクシー利用助成事業の対象となるのか。

**答** 【健康福祉部長】地区の制限は設けていない。

**要望** これまで、高齢者に対する運転免許証返納を促す一つの手だてとして、タクシー券の利用についてさまざま

**再質問** 厳島神社は安産と子育ての神様ということで、塔ヶ崎の観音様と同様に由緒ある神社である。しかも、安芸の宮島の厳島神社を彷彿させるような、森の中央部に鎮座する神秘的な神社とも言われており、その素晴らしさをもっとPRして欲しい。また、市が行う婚活活動の際には男女の出会いの場としても活用できるのではないか。

また議員が質問してきた。75歳という縛りはあるが、高齢者がこのタクシー券を利用して、生活にしっかりと対応できるように事業にしてほしい。



**答** 【産業経済部長】観光資源として生かしていくためには、建物だけではなく、その中身やコンテンツが重要になるので、整備していかなくてはならないと考えている。

**要望** 今後は、地元の方へ行政側から働きかけを行い、観光資源の掘り起こしを願いたい。



友部 政徳

### 下荒地海岸の浸食対策



**答**

【建設部長】背後地に住宅がある230

【建設部長】背後地に住宅がある230

**問**

下荒地海岸に波消しブロック等が設置してあるが、その半分以上は砂に埋もれ、大しけのときは波が押し寄せ、大地が削り取られている。5年前から比べると、かなり浸食の様子が進んでいることが分かる。地元からは、早急な防波堤設置を求める声があがっているが、今後の対応を伺う。

mの区間に洗掘防止の応急対策として、2段の波消しブロックを計画している。平成27年に1段目、平成29年に2段目の100mを設置して、平成30年度は残りの2段目の130mの工事を進めていると聞いている。今後は、県が進める鹿島港から大洗港区間における海岸全体の海底地形の解析結果をもとに現計画の対策効果の検証を行い、構造物の配置や形状などの再検討を進

**答**

【建設部長】波消しブロックは、あく

めていくことになる。  
**再質問** 波消しブロックでも幾らかの効果はあると思うが、以前に施工したものは既に砂で埋もれている現状である。また、背後地には住宅がたくさんあり、将来、波の浸食で削られるおそれがある。波消しブロックではなく、防波堤を設置する計画で進めるようお願いしたい。



まで応急対策で、解析や効果検証を行ったうえで、今後、砂が定着するために必要な対策を検討していきたい。  
**要望** 浸食されない何らかの方法をとるようお願いしたい。

倉川 陽好

### 桜本地区コミュニティ施設の整備



**問**

鉾田地区には地域の集会所がなく、食堂などで集まるといような形が多いと聞いている。桜本地区は自警団や交通指導等を頑張っている地区で、自警団組織や防災、そして地域の和を保つためにもコミュニティセンターは必要な施設であるし、区の加入者を増やすためにも必要ではないかと思う。コミュニティ施設整備の助成に

**答**

【総務部長】桜本地区の地区集会所整備

【総務部長】桜本地区の地区集会所整備については、平成31年度に建設したいとの要望を受けており、市の地区集会所整備事業費補助金交付要綱に基づき、平成31年度当初予算で整備に対する補助を盛り込んでいく。

**再質問**

コミュニティ助成事業など、助成の内容を伺う。

**答**

【総務部長】自治総合センターの宝く

じ助成を活用したコミュニティ助成事業は、補助率5分の3で限度額が1,500万円の補助となっているが、採択件数が1市1件ほどと少なく、申請翌年の補助となる。一方、市の助成については定額補助で、区の戸数により400万円から1,500万円の限度額補助で実施しており、桜

**要望**

限度額1,500万円にこだわらず、地域が一体となるためには、十分なコミュニティセンターが必要なので、その辺も配慮して対応されたい。



亀山 彰



## 幼児教育の早急な見直しを求める



**問**

平成30年の出生数は231人と、20年で半数以下に、婚姻数も162組と大幅に減少している。そこで、保育所や幼稚園の待機児童の有無と入園状況、公立幼稚園の3年保育や延長保育など今後の幼児教育・ビジョンを伺う。

**答**

【健康福祉部長】平成31年度の保育所入所申し込み児童のうち75名が、特定の保育所を希望するなどにより保留となっている。

**【教育部長】**

幼稚園においては、銚田北幼稚園の3歳児が20名定員のところ23名の応募があり、抽選を行った。その他の幼稚園はともに大幅な定員割れとなっている。

現在、銚田北幼稚園のみで実施している3年保育、各幼稚園で5歳児のみ実施している延長保育については、公立幼稚園や保育所のあり方、幼児教育と保育を融合させた認定こども園の整備なども含め、総

**再質問**

合的に検討していきたい。保育所で実質的な待機児童が発生している一方で、幼稚園は大幅な定員割れとなっている。各幼稚園での3年保育と3歳児からの延長保育を実施するなど、早急な対応が必要と考えるが、いかがか。

また、親と同居している自営業の後継者の子どもたちが希望しても入りづらいと聞いている。銚田の基幹産業である農業や商

**答**

【教育長】幼稚園では、預かり保育等については、私立の保育園と非公式ではあるが協議を続けている。待機児童の対策として、幼稚園の受け入れ体制についても検討課題としたい。



小沼 勝



## 農産物PR事業の今後の展開



**問**

うまかつペフェスタは、農産物PR事業の一つとして実施され、また、銚田二高でのまちづくりコンテストでは、うまかつペフェスタの一大イベント化の提案が大賞を受賞している。そこで、昨年度のうまかつペフェスタの市外からの来場者数と今後の展開を伺う。

**答**

【産業経済部長】昨年のうまかつペフェスタの来場者数は約

2万1千人で、うち、市外からの来場者は、アンケート調査の結果から1万人と推計している。

平成31年度は、鹿島灘海浜公園において、観光客の減少する秋から冬にかけて長期間誘客を図れるイルミネーションを設置し、期間中にうまかつペフェスタと同様の、飲食や農産物関係のブース展、ステージパフォーマンス等を実施する日などを設ける計画をしている。

**再質問**

イルミネーションイベント開催は、産地ブランドアップ協議会や農協などと協議した結果か。

【産業経済部長】ブランドアップ協議会等の了承は得ていない。

**再質問**

産地ブランドアップ協議会や農協などと協議をし、コミュニケーションをとって、市民みんなが盛り上がるようなイベントとして欲しい。

**答**

【産業経済部長】まちづくりコンテストでも非常にいい提案をいただいたと思っっている。開催期間中のどこかで高校生に運営を任せたり、企画から参加してもらいたい。





田口 清一

## 交通弱者のための 移動手段の確保



**問** 交通弱者と呼ばれる方が増えるなか、市民が安心して生活できるように生活の足を確保することは重要な課題である。デマンドカーの運行拡大及び銚田市公共交通会議からの答申の内容と市の考え方について伺う。

**答** 【健康福祉部長】現在、運行しているデマンド型の乗合自動車は、銚田・鹿嶋間の路線バス廃止に伴う代替手段

として運行している。運行拡大については、銚田市公共交通将来ビジョンや平成31年度策定予定の地域公共交通網形成計画を踏まえ、運行区域拡大を検討していきたい。また、デマンドタクシーの市内全域拡大までの経過的な措置として、高齢者のタクシー利用助成事業の予算を平成31年度に計上している。

【副市長】銚田市公共交通会議からは自助・共助・公助の取り組みが必要であるとの答申をいただき、今回の銚田市公共交通将来ビジョンがまとめられた。また、平成31年度策定予定の地域公共交通網形成計画については、アンケート等を実施しながら策定していきたい。



入江 晃

## 保育所運営の今後の方針は



**問** 平成31年10月から、3歳児から5歳児の保育料は無料化となる。待機児童の状況を含めた現在の受け入れ状況と今後の見通しを伺う。

**答** 【健康福祉部長】平成31年度の入所申し込み児童のうち、75名が特定保育所を希望しているために保留となっている。また、平成31年10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化により待機児童が増えるのが現時点では見通しが難しいが、平成32年度には民間保育園1園で定数を20名増やす予定となっている。さらなる対応については、教育委員会や関係機関と協議、相談しながら、待機児童を少しでも減らす方向で検討していきたい。

**再質問** 保育園で20名を受け皿になると思うが、スタッフは確保できるのか。

**答** 【健康福祉部長】ハード面では改善される見込みがある一方、保育士確保が大きな課題となっており、今後こうした面も含めて検討が必要と考えている。

**再質問** 幼保一体ということで政府は認定こども園を進めている。認定こども園についての考えは。

**答** 【健康福祉部長】民間保育園等にアンケートをとったところ、7園中5園で認定こども園移行の意向を持っている。【副市長】市としては、保育所や幼稚園といった形にとらわれずに、民間の意向もあるが、保育所と幼稚園をあわせ持った施設整備も含めて検討し、今の体制の中で緊急一時的にどういった体制ができるかも併せて検討していきたい。



## 厚生文教常任委員会行政視察 (平成31年2月6日～8日)

### かこがわウェルビーポイント / ICT教育

#### 加古川市

ボランティア活動・健康づくりを支援するポイント制度

兵庫県加古川市では、ボランティア活動・健康づくりの継続的な取り組みを支援するため「かこがわウェルビーポイント」事業を推進していました。注目すべきなのは、ボランティア活動にもポイントを付与していることで、地域活性化にもつながる取り組みとなっていたことです。本市においても地域コミュニティが希薄となってきたと感じられます。今回の事例を参考とし、地域活性化に取り組んでまいります。



#### 箕面市

タブレットを活用した教育  
児童生徒の理解力向上を目指して

大阪府箕面市では、小中学校でICT教育を進めており、全市立小学校の4年生から6年生の児童にタブレットPCを配備して授業を行うとともに、全教職員にもタブレットPCを配備して、事務の効率化が図られていました。

今回の視察では、積極的にICTを活用することにより、将来を担う子どもたちの学習環境の整備、教職員の負担軽減に努めていることが研修できました。

銚田市においてもICT環境の整備が徐々に進められてきています。本委員会でも、先進的な取り組みを研究し、よりよい教育環境の整備を進めてまいります。

#### ICT教育とは？

ICTはInformation and Communication Technology [情報通信技術]の略称で、タブレットや電子黒板などのICT技術を授業などに活用した教育のこと。

## 原子力施設の安全に関する調査特別委員会視察

### 原子力施設の廃炉措置 (平成31年1月24日～25日)

#### ふげん・もんじゅ(福井県)

ふげん …… 一定の成果あげ廃炉作業進行中  
もんじゅ …… 成果あげられず廃炉に

ふげん・もんじゅは国の原子力施策のもと建設された施設で、ともに廃炉措置が決定しています。現在、ふげんでは最先端技術を用いた廃炉作業が進められており、その技術は積極的に情報公開されていました。本委員会も老朽化が懸念される東海第二原発の動向を注視しつつ、原子力施設の安全に関して調査研究し、市の安全対策に提言してまいります。



# 茨城県知事に要望書を提出しました

なめがた地域医療センターで大規模な規模縮小との報道がなされ、多くの住民から地域医療体制の低下を心配する声が寄せられています。鉾田市議会では、「土浦協同病院なめがた地域医療センター現体制の堅持及び、鹿行地域医療体制の整備に関する要望書」を茨城県知事あてに提出しました。

## 【要望書内容（一部抜粋）】

なめがた地域医療センターは、本市はもとより鹿行地域医療の中核を担ってきました。

現在、本市では急速な少子化・高齢化が進んでおります。特に、高齢者や乳幼児における医療の充実及び救急医療体制の確保・充実は、この地で安心して生活を送るための喫緊の課題です。これに反し、医療体制の崩壊が現実のものとなれば、今後、更なる人口流失が加速し、近い将来、本市の自治体運営は危機的状況に陥ってしまいます。

つきましては、下記について強く要望いたしますので、特段のご配慮をお願い申し上げます。

1. 土浦協同病院なめがた地域医療センターの規模及び医師職員体制、並びに入院・救急受入れ体制をこれまでの水準に戻すこと。
2. 鹿行地域の医療体制の更なる充実を図るよう、茨城県の保健医療関係計画及び、地域医療の構想等に反映すること。
3. 救急搬送時間を短縮するため、救急車両の他にヘリコプターによる搬送なども含め、円滑な救急搬送体制の確立を図ること。



議会報告会は、より開かれた議会を目指すため、市民との意見交換に重点をおき、毎年1回開催しています。平成30年度の参加者は、49名でした。議会の審議内容などを報告した後、意見交換を行い、参加した市民から多くの意見が出されました。

**議会報告会を  
開催しました**

平成31年2月16日(土)  
福祉事務所2階会議室

議会だより第54号の

訂正について

【P15中段 委員会の構成】

議会運営委員会 高野 衛委員の氏名の掲載が漏れていました。

正しくは次のとおりです。

お詫びして訂正いたします。

【正】

委員名	委員長	副委員長	委員
議会運営委員会	二重作 茂兵衛	根寄 眞	高野 衛 堀田 正衛 山口 徳 米川 宗司 亀山 彰



令和元年第1回定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/19	20	21	22	23	24	25
26	27	28 本会議 (開会)	29	30 一般質問	31 一般質問	6/1
2	3 常任 委員会	4 常任 委員会	5 常任 委員会	6	7 本会議 (閉会)	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22

※日程は変更になる場合があります。

平成31年第1回(3月)定例会の  
延傍聴者数 **113名**



19台のスクールバスが新校舎へ児童を安全に送ります！～鉾田南小学校～

傍聴者の声



元鉾田市職員  
根本 研司

最近、行政の継続性や議決の重さが、ないがしろにされてはいないでしょうか。議会での発言、答弁もその場限りの印象です。スクールバスの無料化を懸念する声に議員の良識を感じます。予算編成権や人事権など絶大な権限を持つ市長に対して、それが適正に公平に行われているか、市民の納めた税金が市民のために使われているかをチェックするのも議会の大切な仕事です。文化施設も含めて、よりよい環境を市民に提供する責任が市長にはあると思います。言いたいことがあっても、だまって市税を納めてくれている多くの市民のためにも、議員各位のさらなる活躍を期待しています。

編集後記

春風の中に初夏の香りを感じる季節となりました。

市民の皆様には開かれた議会を目指す中で、議会傍聴、議会報告会とご参加ありがとうございました。

平成最後の年となりましたが、皆さんは平成と言われて何を思い浮かべますか。バブル経済、リーマンショック、自然災害などいろいろありました。わが市においても、市民の皆様のご期待を寄せ、平成の大合併により鉾田市が誕生しました。そして、時代の転換期を迎え、元号が「令和」に変わります。新たな歩みに思いを寄せる中で、鉾田市議会も今年6月に改選があります。今後も広報委員会としてインターネット配信も含め、議会だよりをよりご愛読いただけますように努めてまいります。



(小沼 勝 記)

編集委員

- |      |            |
|------|------------|
| 委員長  | 渡辺 拓哉      |
| 副委員長 | 小沼 勝       |
| 委員   | 石津 武吉 郡司 功 |
|      | 入江 晃 井川 倫士 |

議会を傍聴してみませんか！

次回の定例会は  
**5月28日(火)～**  
開会は午前10時です

事前の予約は不要ですので、市役所3階議会事務局にお越しいただき、傍聴の受付をしてください。